

幼児教育・保育の無償化スタートだが・・・

事務局次長
高松 昌子

10月から幼保無償化が始まります。しかし、政府が実施を決定した当初から、親からは「お金があるなら、待機児童対策の解消や保育の質向上を優先してほしい」との声が噴出しました。

保育所増やして待機児童解消が先

世帯収入によって利用料が決まっている幼稚園や認可保育園が一律無償化となると、収入の高い世帯ほど恩恵を受けることになります。認可外保育園は一律で料金が決まっています、認可保育園に比べると割高になっています。認可外保育の利用者の多くは、認可保育園に申し込んで入れなかった人で、高所得というわけでもありません。結果的に、認可保育園に入れた人、不本意で入れなかった

人の間で納得しがたい格差が生じることになるとの指摘が大きいです。政府は保育の受け皿づくりに2020年度末までに待機児童ゼロに、32万人分を整備するとして、今年度は6万3000人分を確保するとしています。しかし、野村総合研究所の調べでは、必要な保育の受け皿は88.6万分と推計。無償化でさらに待機児童問題は深刻化するとも言われています。

規制緩和で安心安全を奪う

保育の現場で規制緩和が進められています。学童保育についても、昨年11月の内閣府の検討部会で、1教室に2人以上の職員配置を義務付けた基準の拘束力をなくし、職員1人もよしました。安倍政権が推進している企

業主導型保育は認可保育に分類されますが、市区町村に審査・指導の権限がなく認可より基準が緩いのに認可並みの補助金が受けられます。突然の休園、不正受給など問題が続出しています。

公的な保育制度が切り崩される一方で、保育の基準を下げ、小規模保育や個人宅での保育ママを増やしたり、営利企業の参入に予算が充てられています。

保育の質の低下は子どもの命に直結

2008年から2017年までの10年間で、累計139人も子どもの命が失われ、毎年14人近くが亡くなっています。(内閣府子ども・子育て本部)そのうち、認可保育園41人死亡に対し、認可外保育園では、93人が死亡となっています。事故数は2.3倍ですが、利用する子どもの数は認可保育園が1.2倍程であるので、発生率にすると27.6倍にもなります。子どもの命を守り、安心・安全な環境の中で子どもを育むことは、公的な責任でなされるべきです。

幼保無償化を巡っての問題は、それ以外にも、給食費は実費、保育士不足、そして「全ての子ども」と言いながら、朝鮮学校の附属幼稚園など、外国人学校の幼稚園・保育園が除外されています。今後、枚方でも、実態等、利用者の声をお寄せください。

昼食会

2008年6月「月1回でもみんなで一緒に食べませんか?」と「ひこばえ」でスタートした昼食会。2012年から「おいしく食べよう会」として楠葉生涯学習市民センターの料理室を利用しています。毎回、介護施設から福祉タクシーを利用し参加される方、料理の好きな方、一人住まいの方・・・20名程の参加です。

「旬」の食材と季節感を大切にメニューを考えてきました。そして、安価なことも・・・。切干大根を食べながら「子どもの頃を思い出さす」と涙する方もおられ、食事は、生活の積み重ねなんだとあらためて教えられたりもしました。

食後は、1ヶ月の近況報告、健康問題、時には枚方市議会報告など様々な話が飛び交います。「平和は、日常生活から、何でもしゃべれる場から」そんな思いで、おいしい料理づくりに、自発的な料理人(?)はりきっています。

みなさん一度お越しください。



キノコとカシワの混ぜご飯(9月献立)
茄子入り卵焼き・酢の物(なます)・おすまし

発行責任者 共同代表

奥村 秀二(弁護士)

大田 幸世(枚方市平和無防備条例を実現する会)

手塚 隆寛(前枚方市会議員)

事務局 松田 久子(「すずらんの集い」代表)

事務局次長

高松 昌子

市民の広場 ひこばえ

TEL&FAX : 072-846-8780

メールアドレス : hirakat asiminnokai@yahoo.co.jp

ホームページ : http://hiratkat asiminnokai.jimdo.com

H/P



Mail

